



「まだまだ学ぶことばかり」と言いながら、しっかりとお客様の話を聞き取り適確なアドバイスをする姿は「専門家」。税理士という難関資格取得に向けて、着実に歩みを進めている。



同僚のなかには山谷さんと同じく資格取得に向けて勉強する仲間も多く、励みにもなる職場環境だそう。



●ベンチャーパートナーズ
総合会計事務所

札幌市中央区大通西17丁目1-2
VPセンタービル
TEL 011-615-8292
<http://www.abc-tax.co.jp>

す。また、業務を通じて年末調整や確定申告、ふるさと納税などの知識も増え、プライベートでの周囲の人たちの手助けができるのがとてもうれしいそうだ。「この道を選んで本当によかつたと今は思います。税理士資格の取得を目指して勉強を続け、早く一人前になりたい」と、イキイキした表情で目標を語ってくれた。

も受けた山谷さん。「他の事務所から転職してきた同僚に聞くくと、教えると言うよりは『見て学べ』という職場もあるそうなんですね。それに対してもう少し丁寧に教えてくれたのが本当にありがたいことでした」。

会計事務所の仕事は、お客様に税金関連のサービスを提供するだけではなく、社会保険や登記融資申請のサポートなど幅広い。

「税理士はサービス業である」をモットーに、幅広いニーズに応えるのが山谷さんの事務所の方針だそう。「入社前は税理士の仕事をデスクワークというイメージがありましたが、お客様のところへ

出向き、会計や税務の相談に乗る仕事も多くて、いい意味で予想と違い、毎日がとても楽しいです。助成金に詳しい社労士や融資関連の知識豊富な銀行OBの先輩も多くて、学べることもとても多いんです」と山谷さん。新店舗出店にあたり資金繰りに困っていた企業を担当し、山谷さんがサポートしたことで融資が通つて、無事に新しい店舗が誕生した時には本当にうれしかったと笑顔で話す。また業務を通じて年末調整や確定申告、ふるさと納税など の知識も増え、プライベートでの道を選んで本当によかつたと今周囲の人たちの手助けができるのがとてもうれしいそうだ。「この



難しい質問はいったん持ち帰って先輩に聞いたり調べたりしてから正確に回答。「お客様に育てていただいている、と実感することも多いんです！」

落ち着きある笑顔で、お客様の話を丁寧に聞く山谷祐貴さん。「私は入社3年目。まだまだ勉強中なんですね」と話すが、同僚やお客様からもすでに厚く信頼されている。

法学部出身の山谷さんが学生時代にを目指していたのは、司法書士。「法学部を選んだのは特に大きな理由があつた訳じゃないんですけど…」と言うものの、勉強をするうちに、身近な生活にも直結する民法の面白さに目覚めたそう。OBセミナーで司法書士の先輩の話を聞いたのをきっかけに自身も司法書士を目指し、猛勉強を重ねた。

「誰かの指示で動くだけでなく自分の判断や責任で仕事ができることで、自分たちの仕事の良さを実感できる」と、山谷さんは語る。

る点や、決まりきったルーティーンではなくお客様ごとにケースバイケースで問題を解決していく仕事であることに魅力を感じたんです」

とは言え司法書士の試験は合格率わずか3%という超難関。大学卒業後は、コールセンターやフエリーの調理師などの仕事をしながら勉強を続けたそうだ。年齢的なことも考え、自分の希望を見つめ直し「司法書士にこだわらず、同じ『士業』で専門性を生かしながらお客様をサポートできる仕事に就いて、働きながら資格取得を目指していくべきなのでないか」と考えた結果、「会計事務所に就職して税理士を目指す」という道を選んだのが転職の経

緯です、と山谷さんは教えてくれた。

それまで法律を学んできた中でも税に触れる部分があつたものの、基本的には未知の分野。「当社もそうですが、業界全体を見ても転職者の多い世界なんですね。未経験だからと言つて甘えるのは違うかなと思い、とにかく勉強しました。1、2年目は何が分からな

いのかさえ分からない状態。ダメダメです。お客様の多くは経営者で、税金以外の質問をされる場合も多い。『職責』と言うんでしょ

うか、多くのことを学ばなければ



選んでよかったです この道。

迷ったり悩んだりといった経験は人生につきもの。道を探りながらも前へと進めばきっと「これでよかったんだ!」と思える時がやってきます。回り道もしたけれど「やっぱり、この道」と思える仕事に出合い、イキイキと活躍する人に話を聞きました。



業務内容が幅広くて
いい意味で予想と違い
とても楽しい。

ベンチャーパートナーズ総合会計事務所
コンサルタント 山谷 祐貴さん